



深谷市長
新井家光

プライム

英語のprime（プライム）は、最高や最良を表し、総理大臣はプライムミニスター、テレビ番組でゴールデンタイムより良い時間帯をプライムタイムなどといいます。銀行の貸出金利では、優遇金利を「プライム」ということに対して、その補助的なローンを「サブ」を付け「サブプライムローン」と呼んでいます。

アメリカのこのローンは審査基準が緩い上、当初の金利も低いのですが、長期的には高金利に設定されています。今まで問題化しなかったのは、購入した住宅の価格の値上がりが続き、借り手は住宅の価格上昇分を担保にして普通の住宅ローンである「プライムローン」に借り換えることができたからでした。しかし、住宅価格の伸びが止み、この手法が使えず不良債権化し、これがアメリカの株価暴落、世界的な金融不安を起す引き金になりました。

この金融不安は、深谷市においても実体経済

の悪化、消費の落ち込みという形で現れつつあります。そのため、私は小規模修繕の業者登録を簡素化し、また、10月1日付けで緊急的に市融資制度の拡充や利子補助などの対策を講じて参りました。しかしながら、今回の未曾有の事態に対しては、さらに、よりきめ細かな対策を講じる必要を感じております。

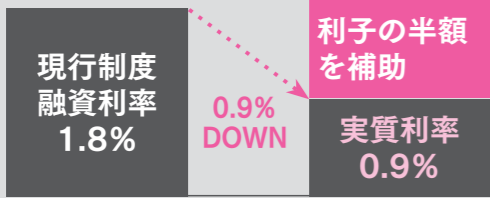
そこで、市議会で議決をいただかなければなりません。私は公共事業の前倒し発注を推進し、小規模修繕工事や融資制度拡充のための予算を確保して参りたいと考えております。

「集権国家」から、地方分権型社会への転換に向けて自治体の責務はますます重くなります。地域の实情に即し、地域自ら決める「地域決定権」を実現させるためには、国からの税源移譲は不可欠です。しかし、それを待っていたのでは地方政治・行政は進みません。「今やれることは何か」を速やかに決定することが重要です。地域が抱えている問題点を正面から見据えて解決策を探っていく。自らの足で立つことが求められます。皆様にとって深谷市が「プライム」なまちであり続けられるよう今後も鋭意努力してまいります。

大道行くべし、又何ぞ妨げん 木戸孝允

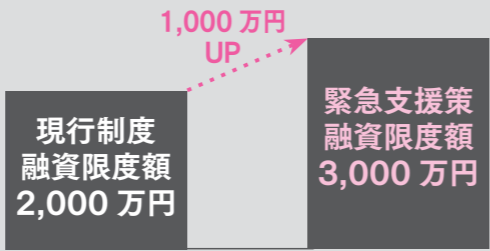
② 利子の半額を補助

中小企業近代化経営資金の融資実行日から3年間、利子の半額を市が補助します。
※平成20年10月1日～平成24年3月31日までの融資実行分が対象となります。

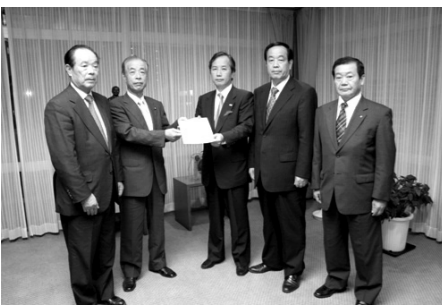


① 融資限度額を拡充

市制度融資のうち、「中小企業近代化経営資金」を2,000万円から3,000万円に拡充します。



「沈黙考」ワンポイント解説
経済不況への中小企業支援策



10月14日に深谷商工会議所と市内4商工会（岡部・豊里・花園・川本）から不況対策についての要望書が市へ提出されました。
※右..深谷商工会議所 左..市内4商工会

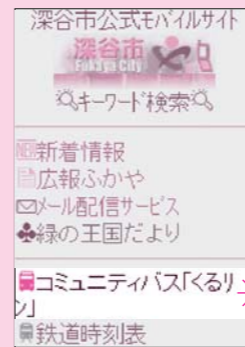


「くるリン」の愛称で親しまれているコミュニティバス

ご利用の際は、各コースとも便数が限られていますので、あらかじめ時刻表*でご確認ください。

*「くるリン」の時刻表は、市役所本庁舎、各総合支所、各公民館など主要公共施設の窓口で配布しています。

また、市ホームページや市モバイルサイト（↓トップページ画面）からもご覧いただけます。ぜひご利用ください。



モバイルサイト
2次元バーコード



選択

深谷市コミュニティバス「くるリン」は、高齢者や運転免許証をお持ちでないかたなど、いわゆる交通弱者に対する交通手段の確保を主な目的として、平成9年7月から3年間の試行運行を経て、平成12年度から深谷地区で本格運行を開始しました。現在は、「合併後2年以内に再編する」という調整方針に基づき、平成20年4月から運行エリ

アを岡部・川本・花園地区に拡大し運行しています。この岡部・川本・花園の3地区の運行は、2年間の試行運行と位置付けております。平成22年度以降の運行については、利用状況などを見定めながら、深谷地区を併せた市全体で見直しを行う予定です。今後とも、市民の皆さんにより親しまれるバスを目指してまいります。

コミュニティバス
くるリン
活用術

第1回

今月から3回にわたり、深谷市コミュニティバス「くるリン」についてご紹介いたします。今回は、概要および特徴をお知らせします。

くるリンの特徴とは？

1 料金は100円で1日乗り放題

1日乗り放題100円（未就学児は無料）で、毎日休まず運行しています（年末年始を除く）。

2 市内全域にアクセス可能な路線

平成20年4月から、岡部・川本・花園地区に運行エリアを拡大したことにより、市内全域にアクセス可能な路線となっています。路線数は4路線から14路線となり、地区を結ぶシャトル便を追加したことが特徴となっています。路線の検討に当たっては、各地区の高齢者団体や自治会長のかたがたを対象にグループインタビューを実施し、そこで頂いたご意見を参考にしました。

問い合わせ

企画財政課 ☎574-6632

3 家族でも楽しめる施設がいっぱい

「くるリン」は、高齢者や運転免許証をお持ちでないかたなどに対する交通手段の確保を主な目的として運行しているものですが、ルート上には、家族と共に楽しめるスポーツ・レクリエーション施設や文化施設などが多数あります。

くるリンに乗って、遊びに行こ〜♪

- ・北関東一の規模を誇る温水プール「グリーンパーク・パティオ」
- ・子どもたちに人気のミニSLがある「川本サングリーンパーク」
- ・郷土の偉人沢栄一翁を顕彰するための拠点施設「沢栄一記念館」
- ・「岡部荘」や「もくせい館」、「花園荘」といった福祉施設
- ・花園文化会館「アドニス」 など

停留所があるよ。

